

「職場環境改善アドバイザー」はこんなアドバイスを行っています！

派遣要請を多く頂いている職種において、これまでにアドバイザーが行った指摘やアドバイスの一部をご紹介します。

【学校給食事業】

○裁断機の刃に手が届く

⇒裁断機の刃に手が届く構造になっています。「切れ」を防ぐため、作業手順書を作成して教育・指導し、ハンドル（押し棒）を使用して作業することを徹底してください。



○高温となった釜の外部に触れる恐れがある

⇒「火傷」を防ぐため、釜の外部へ断熱材や防護カバーを設置するか、「高温注意」の表示をして注意喚起を行いましょう。



【清掃事業】

○ベルトコンベアの駆動部のカバーがない

⇒「はさまれ・巻き込まれ」の可能性があります。金網等で覆いを設置してください。また、修理等で取り外した場合、すぐに取り付けてください。



○腰に負担がかかる姿勢でごみ袋を持ち上げている

⇒腰を高く保ち、腕を伸ばして物を持ち上げる姿勢で繰り返し物を持ち上げることは、腰に相当な負担がかかり、「腰痛」の原因となります。出来るだけ腰を落とし、重心を低くして持ち上げるよう意識してください。



【保育事業】

○折り畳み椅子を踏み台代わりにしている

⇒保育室の高所へ物を掲示する際は、「墜落・転落」を防ぐため、折り畳み椅子のような不安定な足場ではなく、脚立や専用の踏み台を使用してください。



○部屋の出入口や畳敷きの部分に段差がある

⇒部屋の出入口などには段差が出来やすく、「転倒」の可能性が高くなっています。

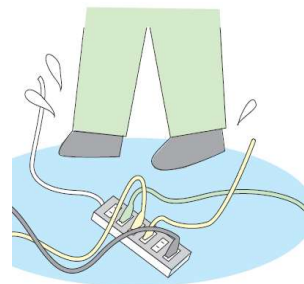
市販の段差スロープの設置や、黄色テープを張り注意喚起を行うなどの対策を取ってください。



【庁舎（事務室）】

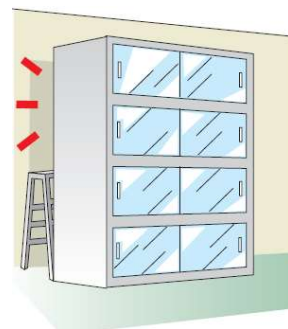
○通路にコードやケーブルが放置されている

⇒「つまずき」の原因となるため、コンセントの設置場所を工夫し、コード類はモールなどで養生してください。



○棚が固定されていない

⇒地震発生時、倒れてきた棚の下敷きになる恐れがあり、また避難経路が塞がれてしまう可能性があります。壁にしっかり固定してください。



各々の職場に合った、より具体的なアドバイスを聞きたい場合は、是非「職場環境改善アドバイザー事業」をご活用ください！（対象は、掲載された職種に限りません。）

〔問い合わせ先〕

一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会 調査研究課

電話：03-3230-2021 FAX：03-3230-2266